

オノマトペ道徳絵本の視線ポイントに関する一考察

A Consideration about the Eye Point of Onomatopoeia Moral Picture Book

藤野 良孝

Yoshitaka FUJINO

要 旨

本研究は、オノマトペ道徳絵本における視線ポイント(停留)が絵と文字の構成によって違いがあるのかを検討する為、[1]モノクロイラスト、[2]モノクロイラスト・黒色オノマトペ文字、[3]モノクロイラスト・カラーオノマトペ文字、[4]カラーイラスト・カラーオノマトペ文字の4パターンから分析した。結果、[1]は色彩が無い分、絵が表現する情報を抽出する意識が高まり視線停留する場の数が多い傾向が示された。[2]は主に「ふんっ」「ふ〜んだ」のサイズ感に目が行き、停留する傾向が示された。[3]は赤色の誘目性から「ふ〜んだ」に停留が集中する傾向が分かった。[4]は誘目性の高い赤文字と鮮やかなイラストから視認性が高まり、視線停留する場が多岐に渡る傾向が示された。各パターンの停留特徴を踏み台に絵本の構成を検討すれば、問題の気づきや意識を強化できる可能性が示された。

1. はじめに

子どもの社会性や能力を高める為には、就学前から絵本を積極的に読み聞かせすることが推奨されている。その実態として、3〜5歳児家庭の読み聞かせの調査では「ほとんど毎日している割合は、年少 31.8%、年中 25.5%、年長 17.8%」、子どもがひとりで読む頻度は「年齢に関わらず、約3〜4割の子どもがほとんど毎日ひとりで絵本などを読んでいる。」ことが報告されている(ベネッセ教育総合研究所 2014)。次に、絵本や本が子ども及ぼす肯定的な影響に関する先行研究について述べる。子どもの頃の読書習慣は大人になってからどう影響するのかについての調査では、「特に、就学前から小学校低学年までの「家族から昔話を聞いたこと」、「本や絵本の読み聞かせをしてもらったこと」、「絵本を読んだこと」といった読書活動は、成人の「文化的作法・教養」との関係が強い」ことを示し、「就学前から中学時代までに読書活動が多い高校生・中学生は、就学前から中学時代までの体験活動も多い。」と報告している(国立青少年教育振興機構 2013)。川井ほか(2008)は、幼児期における絵本の読み聞かせは「親子のコミュニケーションの改善にも有益。」と述べている。浜崎・黒田(2017)は、「幼児期に絵本の読み聞かせ経験のある98%の人々が絵本の読み聞かせには肯定的な効果があると考えていることを明らかにした。」と報告している。野々上ほか(2018)は「絵本の読み聞かせを通して、幼児は絵本や物語に親しみ、イメージを膨らませる楽しさを味わう事ができた。」と述べている。

このように就学前から絵本などの本を読む活動が多いほど、社会性、創造的知性を高め生活を豊かにする資質の向上に寄与することが期待される。

3. 結果と考察

表1は、4パターン別に視線停留された場所（線を引いた箇所）とその理由である。表上の番号([1]-[4])はパターンを表している。[1]がモノクロイラスト、[2]がモノクロイラスト・黒色オノマトペ文字、[3]がモノクロイラスト・カラーオノマトペ文字、[4]カラーイラスト・カラーオノマトペ文字を指す。下記に4パターンそれぞれの結果と特徴傾向について考察してゆく。

表1 パターン別の視線停留とその理由

[1]	理由	[2]	理由	[3]	理由	[4]	理由
花	なし	ふ～んだ	大きいから	ふ～んだ	自然と目がいった	蝶	かわいい
女子の顔	この絵でこの女性の顔が一番目にとまりやすかった。	女子の顔	この絵でこの女性の顔が一番目にとまりやすかった。	ふ～んだ	色彩のある字だし字が大きかったから。	ふ～んだ	色彩のある字だし字が大きかったから。
花と蝶	遠くから良く見える木なのになんでちょうちよがいるの？	花と蝶	遠くから良く見える木なのになんでちょうちよがいるの？	花と蝶	遠くから良く見える木なのになんでちょうちよがいるの？	男子の顔	性格悪そう
女子の襟	口か何か迷	ふ～んだ	濃いから	ふ～んだ	1番目立つから	ふ～んだ	1番目立つから
男子の顔	一番大きく写っているから	ふ～んだ	色もないので字をよんでいた	ふんつとふ～んだ	カラーでどうい感じか想像できた。	男子全体	逆に色がまぎって見にくく、シンプルなものに目がいった
男子の髪	とげとげしすぎ	女子の口	鼻がやばい	男子の顔	目細すぎ	女子の髪	かみの毛すくない
女子と男子全体	人がいると思うぐらい。	ふ～んだ	感情がかいてあって少し内容が分かる。	ふ～んだ	色が少しいて内容が分かりやすくなった。	絵全体	すべての色に色があり、内容が1番分かりやすく、絵の内容が伝わりやすい。
女子と男子の顔	何を考えているか分からない	女子と男子の顔	2人とも怒っているのが伝わる	ふんつ	女の人がおこっているようにみえる	ふ～んだ	男の人が怒っているのが分かる。
女子と男子の顔	なんでそっぽむいているのだろう	ふんつとふ～んだ	怒っているんだなー	ふんつとふ～んだ	目に入りやすい	蝶	ちょうちよだと分かった
女子の顔	かおがおこっているから	ふ～んだ	字がでかいから	ふ～んだ	字が赤いから	ふんつとふ～んだ	背景に色がついて字が見やすくなった
花	お花	ふんつとふ～んだ	字がある	ふ～んだ	カラーや	女子と男子の襟	えりやったんやなー
女子の顔	ベツ見たときに見てしまった 良いと思います	ふ～んだ	内容がわからなかったから文字を見た 良いと思います	ふ～んだ	カラーになってより目をひいた 良いと思います	山と花	カラーがふえたため見えた 良いと思います
花	何かはつきり見えるから	ふ～んだ	字が一番大きいから	ふ～んだ	字が大きく色がついているから	蝶	今まで見えなかったから。
男子の顔	一番目に入ったから	ふ～	でかい	ふ	でかい	山	緑色が浮いているから
山	色が無いから黒に目が行く	ふ～んだ	色がなく顔も薄いので文字に目が行く	ふんつとふ～んだ	文字に色があるので文字に目が行く	ふんつとふ～んだ	見やすい
男子の顔	おこっているとわかる	女子の顔	やっとなを思っているかわかったから	ふんつ	女子の顔とふんつ	ふ～んだ	赤色で書いてあるから目にとまりやすい。
女子と男子の顔	見にくい	ふ～んだ	他が見にくい	ふ～んだ	カラーだから目にとまった	男子の顔	表情がよみとりやすい
男子の顔	つり上がっているから	ふ～んだ	一番大きい	ふ～んだ	一番大きいし、赤だから	ふ～んだ	一番大きいし、赤だから
男子の顔	りんかくが気になった	ふ～んだ	女子よりも大きい字だから	花と蝶	自然と目が行く	女子と男子の顔	二人の表情の違いに目が行った。
男子の腰と手	怒っているのがわかる	ふ～んだ	字が大きいから	ふ～んだ	赤い字は目に入りやすい	ふ～んだ	赤い字は目に入りやすい
男子の右手	手が楽しそうときの手ではない	ふんつ	ふ～んだがみずらく、ふんがすらつとよめた	ふ～んだ	赤いから	ふ～んだ	ふんがけしきにとけこんでいる為
花	お花が1本だけあったから	花	お花が1本だけあったから	ふんつとふ～んだ	文字に色がついていたから	蝶	チョウチョがいたから。
男子の顔	ギザギザしている	ふ～んだ	文字がでかい	ふ～んだ	色があって文字でかい	女子の顔とふ～	見やすい
女子と男子の顔	顔のように見えたから	ふ～んだ	字が大きかった	ふんつとふ～んだ	色がついていた	絵全体	カラーだからすべて見れた
女子の襟	最初に見た時あごがわれていると思った。	ふんつ	字がでてきて目がそこにいった	ふ～んだ	カラーになってよけい見やすくなった	空	背景がカラーになってなぜか何個か消えた
女子と男子の顔	白黒なので全体像をとらえました	ふんつとふ～んだ	文字のりんかくがはつきりしていたため	ふんつとふ～んだ	文字のりんかくがはつきりしているため	絵全体	全体がとも見やすいようにできていた
女子の顔	笑っているように見えた	ふ～んだ	一番ふとく書いてあるから	ふ～んだ	色がついているから	女子の顔	おこっているんだと気づいた。
花	中心になぜ花が居るのか	ふ～んだ	文字だから	ふ～んだ	赤で目をひいた	ふ～んだ	大きいから
女子の襟	これは何かかなと思った	ふ～んだ	あまり怒っている感じではないと思います。	花	仲がいいのかなと思った。	ふ～んだ	赤という目立つ、大きいから
						ふんつ	おこっているのが分かる。

理由の記述内容は原文のまま

3.1. モノクロイラストの視線停留

表 1 の記述結果を整理すると、表 2 のようになる。視線停留する場所として最も多かったのは「男子の顔 (23.3%)」であった。理由としては、「とげとげしすぎ」「おこっているとわかる」「つり上がっているから」など表情に目が行き停留する傾向が分かった。

次いで、「花」(16.7%)、「女子と男子の顔 (13.3%)」、「女子の顔 (13.3%)」が顕著であった。花についての停留理由は「お花が 1 本だけあったから」「中心になぜ花がるのか」とあり、イラスト構成の不調和の部分に目が停留したようだ。女子の顔についての停留理由は「この絵でこの女性の顔が一番目にとまりやすかった。」「かおがおこっているから」など、男子の顔と同様に表情に目が行く傾向が分かった。

次に、線を引いた場所を集約した数を示す (図 3: 以下同様)。モノクロイラストは、12 カ所に集約されることが分かった。これは全体的を通して見ると多い。イラストに色彩がないため、じっくりと絵を観察したことが影響していると考えられる。

3.2. モノクロイラスト・黒色オノマトペ文字の視線停留

視線停留する場所の上位3つは全てオノマトペであった。線を引いた場所も、オノマトペに集約され、2 番目に少なかった。

トップは、「ふ～んだ (56.7%)」で「ふんっ」(10.0%)、「ふんつとふ～んだ (10.0%)」と続いた。コメントからは「字がでかいから」「字が大きいから」など文字の大きさに目がとまったコメントが多数みられた。

このことから、問題点を気づかせるという学習的側面において、オノマトペを大きく表現した方が読者の目にしっかり止まる可能性が期

表 2 パターン別の視線停留場所の種類と割合

[1]モノクロイラスト			[2]モノクロイラスト・黒色オノマトペ		
線を引いた場所	数	割合	線を引いた場所	数	割合
花	5	16.7%	ふ～	1	3.3%
花と蝶	1	3.3%	ふ～んだ	17	56.7%
山	1	3.3%	ふんっ	3	10.0%
女子と男子の顔	4	13.3%	ふんつとふ～んだ	3	10.0%
女子と男子の頭	1	3.3%	花	1	3.3%
女子と男子全体	1	3.3%	花と蝶	1	3.3%
女子の顔	4	13.3%	女子と男子の顔	1	3.3%
女子の襟	3	10.0%	女子の顔	2	6.7%
男子の顔	7	23.3%	女子の口	1	3.3%
男子の右手	1	3.3%		30	100.0%
男子の腰と手	1	3.3%			
男子の髪	1	3.3%			
	30	100.0%			
[3]モノクロイラスト・カラーオノマトペ			[4]カラーイラスト・カラーオノマトペ		
線を引いた場所	数	割合	線を引いた場所	数	割合
ふ	1	3.3%	ふ～んだ	10	32.3%
ふ～んだ	16	53.3%	ふんっ	1	3.2%
ふんっ	2	6.7%	ふんつとふ～んだ	2	6.5%
ふんつとふ～んだ	6	20.0%	絵全体	3	9.7%
花	1	3.3%	空	1	3.2%
花と蝶	2	6.7%	山	1	3.2%
女子の顔とふんっ	1	3.3%	山と花	1	3.2%
男子の顔	1	3.3%	女子と男子の顔	1	3.2%
	30	100.0%	女子と男子の襟	1	3.2%
			女子の顔	1	3.2%
			女子の顔とふ～	1	3.2%
			女子の髪	1	3.2%
			男子の顔	2	6.5%
			男子全体	1	3.2%
			蝶	4	12.9%
				31	100.0%

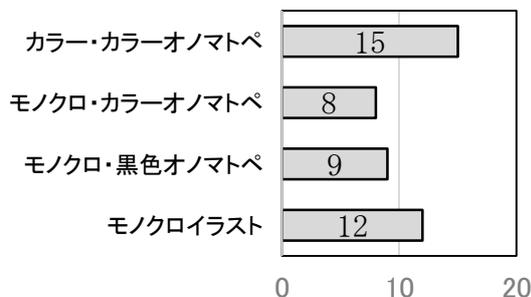


図 3 線を引いた場所を集約した数

待される。他の理由としては、「感情がかいてあって少し内容が分かる。」や「やっと何を思っているかわかったから」など、イラストの内容をオノマトペの有する意味から理解を促すことが窺えた。

3.3. モノクロイラスト・カラーオノマトペ文字の視線停留

半数が「ふ〜んだ(53.3%)」に視線停留していることが示された。次いで、「ふんっとふ〜んだっ(20.0%)」が顕著であった。モノクロイラストにカラーオノマトペ文字が入ったことで、文字に視線を停留させる傾向が示された。4 パターンの中で、線を引いた場所を集約した数(8)が最も少なくオノマトペに視線が集中することが分かった。

1 番停留した「ふ〜んだ」について考察すると、「字が赤いから」「赤い字は目に入りやすい」「赤で目をひいた」など、赤が有する誘目性が影響していることが推察された。特に誘目性が強い赤は、目を引く可能性が高いことから、反道徳的行為を伝えるメッセージの強調として役立つ示唆を得た。「ふんっとふ〜んだっ」に線を引いた人で、「カラーでどういう感じが想像できた。」と理由が述べられていたように、使用する色彩によって印象を変えることもできると考えられる。このことから、色彩が与える心理的印象を活用し、全体の色彩をバランスよく構成すれば学習的な理解に役立つ可能性があると考えられる。

3.4. カラーイラスト・カラーオノマトペ文字の視線停留

視線停留は、「ふ〜んだ(32.3%)」が最も多かった。割合の高さは、モノクロイラスト・カラーオノマトペ文字と同様、赤色の誘目性の高さが影響していると考えられる。次点として、「蝶(12.9%)」「絵全体(9.7%)」に若干停留するものの、多くが「空」や「山」、様々な人の部位(全体、髪、顔、襟)に停留する傾向が分かった。線を引いた場所を集約した数では、4 パターンの中で最多の15であった。この様々な場所に停留したことを肯定的に捉えて考えると、鮮やかな色彩(明度や彩度)によってメリハリが生まれ、視認性が高まり、視線を誘導したことも一理あるが、それ以上に読み手が細部に渡って絵を観察するようになったことが注目される。

中澤ほか(2005)の「絵本の絵が幼児の物語理解ではなく、幼児の想像力に影響する」と報告していることに着目するならば、はじめにイラストに停留させ想像力を働かせながらオノマトペの意味に結びつけて理解を図る流れができると学習的に有用だと考えられる。

以上から、オノマトペ道徳絵本の理解をより促すことを考慮するならば、視認性をあげるメリハリのある色彩でイラストをデザインし、誘目性の高い色彩で強調したい表現の文字を作成することが望ましいと考えられる。

4. ま と め

本研究では、オノマトペ道徳絵本における視線の停留について着目し、4 パターン(モノクロイラスト、モノクロイラスト・黒色オノマトペ文字、モノクロイラスト・カラーオノマトペ文字、カラーイラスト・カラーオノマトペ文字)から分析した。その結果、モノクロはイラストに色彩が無いことから、絵が表現している情報を抽出しようという働きが影響し、視線停留の種類が全体的に多い傾向が示された。モノクロイラスト・黒色オノマトペ文字は、全体の76.7%が「ふんっ」と「ふ〜んだ」のいずれか又は両方に視線停留する

ことが分かった。視線の停留がオノマトペに集中した為か、線を引いた場所を集約した数も少ない傾向が分かった。モノクロイラスト・カラーオノマトペ文字は、「ふ〜んだ(53.3%)」に視線停留が集中していることが分かった。「ふ〜んだ」を選んだ代表的な理由は、「赤い字は目に入りやすい」「赤で目をひいた」など、赤もつ誘目性に影響される傾向が示唆された。カラーイラスト・カラーオノマトペ文字は、視線停留は「ふ〜んだ(32.3%)」が最も多かった。また 4 パターンの中で、線を引いた場所を集約した数が 15 と最多であることが分かった。誘目性の高い赤文字と鮮やかなイラストによって、視認性が高まったことで、読み手は絵のすみずみまで観察し、気になった場所に視線を停留する傾向が示唆された。

今後、本研究のパターン別の特徴を踏み台とし、幼児の道徳学習に役立つオノマトペ道徳絵本の総合的なデザインについて検討を重ねていく計画である。

謝 辞

本研究の一部は、JSPS 科研費 JP 18K02839 の助成を受けたものです。フィールド調査にご助力いただいた幼稚園の園長先生、諸先生方に厚くお礼申し上げます。オノマトペ道徳絵本について、数々の助言をいただいた朝日大学法学部教授・平田勇人先生、作家・デザイナーの三角芳子先生にお礼申し上げます。

参 考 文 献

- [1] ベネッセ教育総合研究所(2014)データから見る幼児教育. 3~5歳児家庭の読み聞かせの現状 https://berd.benesse.jp/up_images/magazine/en2015spring_2.pdf. 参照日(2019.3.19)
- [2] 藤野良孝、平田勇人、三角芳子 (2016)ぶっぶーっ. ミスミヨシコ
- [3] 藤野良孝(2018)幼児の法教育支援を目的としたオノマトペ絵本の開発と評価.経営法学研究第 20 号 29-41 頁. 日本経営実務法学会
- [4] 浜崎隆司、黒田みゆき(2017)絵本の読み聞かせがその後の人生に及ぼす影響—— テキストマイング法を用いて——鳴門教育大学研究紀要 第 32 卷 86-92 頁
- [5] 国立青少年教育振興機構(2013)子どもの読書活動の実態とその影響・効果に関する調査研究 報告書 http://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/72/. 参照日(2019.3.19)
- [6] 川井蔦栄、高橋道子、古橋エツ子(2008)絵本の読み聞かせと親子のコミュニケーション.花園大学 社会福祉学部研究紀要 第 16 号 83-96 頁
- [7] 中澤潤、中道圭人、大澤紀代子、針谷洋美(2005)絵本の絵が幼児の物語理解・想像力に及ぼす 影響. 千葉大学教育学部研究紀要 第 53 卷 193-202 頁
- [8] 野々上瑞穂、浦上みゆき、大岩玲子、太田和美、山田宏子、中上由紀子、竹田理香、大下幸甫、 林朋茄(2018)絵本の読み聞かせと子どもの育ち;美作大学附属幼稚園の実践を通して. 美作大学 紀要 51 号 131- 137 頁

藤野 良孝(保健医療学部健康スポーツ科学科准教授)